



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月14日
上場取引所 東

上場会社名 福井コンピュータホールディングス株式会社
 コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 落野 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 林 治克 TEL 0776-53-9200
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,461	6.6	867	86.0	885	76.9	543	105.7
24年3月期第3四半期	5,125	11.3	466	85.4	500	79.1	264	122.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 608百万円 (154.5%) 24年3月期第3四半期 239百万円 (142.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	47.28	—
24年3月期第3四半期	22.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,099	6,554	71.8
24年3月期	8,798	6,175	70.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,534百万円 24年3月期 6,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,174	△0.9	1,044	20.3	1,070	17.2	618	13.8	53.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）福井コンピュータアーキテクト株式会社、福井コンピュータ株式会社
除外 1社 （社名）－
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	11,500,000株	24年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	11,920株	24年3月期	11,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	11,488,128株	24年3月期3Q	11,489,169株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）が判断したものであります。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）における当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高5,461百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益867百万円（前年同期比86.0%増）、経常利益885百万円（前年同期比76.9%増）、四半期純利益543百万円（前年同期比105.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更していますが、前四半期連結累計期間について変更後の区分方法による作成が困難なため、比較を行っておりません。

①建築CAD事業

新設住宅着工戸数は昨年9月以降前年を上回り、平成20年以来となる年間で90万戸以上の着工が予測されております。消費増税優遇策への様子見からやや買い控え感も出ていますが、新政権への期待は住宅業界においても大きくなっております。このような状況の下、昨年10月にクラウドサービスとの連携によるiPadプレゼン機能を強化しました「ARCHITREND Z Ver.8」を発売したことにより、売上の増加につながりました。この結果、建築CAD事業の売上高は2,935百万円、営業利益は407百万円となりました。

②測量土木CAD事業

測量の主力商品であります「BLUETREND XA 2013」は、CAD機能を大幅に強化したことが幅広く受け入れられ、アップグレードによる売上が増加しました。また、昨年11月に土木の主力商品であります「EX-TREND 武蔵2013」を発売し、情報化施工における三次元設計データ作成と総合評価支援への機能強化を図り、提案を強化いたしました。この結果、測量土木CAD事業の売上高は2,331百万円、営業利益は290百万円となりました。

③ITソリューション事業

報道機関向け出口調査システム「ワンクリックカウンタ」、インターネット宿泊予約システム等により、売上高は194百万円、営業利益は105百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、9,099百万円となり、前連結会計年度末より301百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間において、当社は平成24年7月2日をもって持株会社体制へ移行し、当社の建築CAD事業を会社分割により承継した福井コンピュータアーキテクト株式会社及び当社の測量土木CAD事業を会社分割により承継した福井コンピュータ株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,122	3,425
受取手形及び売掛金	1,344	1,206
商品及び製品	26	20
仕掛品	12	18
原材料及び貯蔵品	25	12
繰延税金資産	218	157
その他	80	141
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	4,824	4,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,708	1,641
土地	1,123	1,122
その他(純額)	56	63
有形固定資産合計	2,888	2,827
無形固定資産		
のれん	32	23
その他	96	125
無形固定資産合計	128	149
投資その他の資産		
投資有価証券	609	699
繰延税金資産	30	12
その他	328	447
貸倒引当金	△11	△13
投資その他の資産合計	956	1,146
固定資産合計	3,973	4,122
資産合計	8,798	9,099

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68	24
未払法人税等	317	268
前受金	1,232	1,303
賞与引当金	206	128
役員賞与引当金	40	26
その他	735	742
流動負債合計	2,600	2,495
固定負債		
長期未払金	3	3
その他	18	45
固定負債合計	22	49
負債合計	2,622	2,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	2,448	2,762
自己株式	△5	△5
株主資本合計	6,171	6,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14	49
その他の包括利益累計額合計	△14	49
少数株主持分	18	20
純資産合計	6,175	6,554
負債純資産合計	8,798	9,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	5,125	5,461
売上原価	1,036	1,141
売上総利益	4,088	4,320
販売費及び一般管理費	3,622	3,453
営業利益	466	867
営業外収益		
受取配当金	7	7
受取手数料	9	9
償却債権取立益	10	—
その他	9	1
営業外収益合計	35	17
営業外費用		
持分法による投資損失	1	—
その他	0	—
営業外費用合計	1	—
経常利益	500	885
特別損失		
固定資産売却損	—	0
減損損失	23	—
特別損失合計	23	0
税金等調整前四半期純利益	476	885
法人税、住民税及び事業税	144	268
法人税等調整額	74	71
法人税等合計	219	340
少数株主損益調整前四半期純利益	257	544
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△6	1
四半期純利益	264	543

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	257	544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	63
その他の包括利益合計	△18	63
四半期包括利益	239	608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245	606
少数株主に係る四半期包括利益	△6	1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設業系 CAD事業	ITソリュ ーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,022	103	5,125	—	5,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,022	103	5,125	—	5,125
セグメント利益	783	7	790	△324	466

(注) 1. セグメント利益の調整額△324百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事業	ITソリュ ーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,935	2,331	194	5,461	—	5,461
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,935	2,331	194	5,461	—	5,461
セグメント利益	407	290	105	802	64	867

(注) 1. セグメント利益の調整額64百万円は、グループ会社からの経営指導料等及びグループ管理にかかる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、セグメント情報におけるセグメント区分は「建設業系CAD事業」「ITソリューション事業」に区分しておりました。当第1四半期連結会計期間より「ITソリューション事業」は重要性がなくなったため、「その他」として表示しておりましたが、当第3四半期連結会計期間から「ITソリューション事業」の重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、「建設業系CAD事業」は「建築CAD事業」と「測量土木CAD事業」に区分して表示する方法に変更しております。当該変更は、平成24年7月2日に会社分割による持株会社体制へ移行し、分割会社として建築CADソフトウェアの開発及び販売を主たる事業とする福井コンピュータアーキテクト株式会社と測量土木CADソフトウェアの開発及び販売を主たる事業とする福井コンピュータ株式会社を新たに設立しましたが、この持株会社体制への移行を考慮して、取締役会に報告する区分の見直しを行ったことから、上記のとおり変更することといたしました。

さらに、上記変更に伴って、セグメント別の損益をより明確に表示するために、従来、各報告セグメントに配賦していなかった全社費用を、それぞれの費用の性質に応じた合理的な配賦基準に基づき、各報告セグメントへ配賦しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント区分に基づいて作成するために、必要な情報を遡って入手することは困難であります。そのため、当第3四半期連結累計期間について、前連結会計年度の区分方法により算定した情報を開示しております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設業系 CAD事業	ITソリュ ーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,267	194	5,461	—	5,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,267	194	5,461	—	5,461
セグメント利益	1,255	105	1,360	△493	867

(注) 1. セグメント利益の調整額△493百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。